

この報告書は、原本と相違ないことを証明します。

総数 1 頁 の 1 頁

2023年4月28日

岩手県生コンクリート工業組合
中央技術センター

岩工中技第40446号
発行日 2023年 4月 28日

骨材のアルカリシリカ反応性試験（化学法）報告書

岩手県生コンクリート工業組合
中央技術センター
〒020-0816 盛岡市中野
TEL 019-622-4820・FAX 019-622-4825
承認署名者・所長



顧客名称	Sand Stone株式会社	
顧客住所	〒027-0423 岩手県下閉伊郡岩泉町中里字林の下66-2	
試験方法	JIS A 1145:2017「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)」	
試験条件	指定事項無し	
試験品目	受領年月日	2023年4月11日
	識別番号	23.04.11-B-10
	受入れ時の状態	荷袋に損傷無し
	試料採取年月日	2023年4月10日
	種類名	川砂
	産地名	岩手県下閉伊郡岩泉町中里地内
岩種名		
備考	・記載事項無し	

上記試験品目の試験結果は、下記のとおりであることを証明いたします。

試験結果	試験年月日	2023年4月28日			
	溶解シリカ量(Sc)の定量方法	原子吸光光度法			
	測定番号	1	2	3	平均値
	溶解シリカ量(Sc) mmol/L	27	28	28	28
	アルカリ濃度減少量(Rc) mmol/L	125	125	125	125
	判定結果	無害			
判定基準	・判定は、測定項目における定量値の平均値を用いて行うものとし、次による。 a) 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L以上で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の範囲では、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)未満となる場合、その骨材を“無害”と判定し、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)以上となる場合、その骨材を“無害でない”と判定する。 b) 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L未満でアルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の場合、その骨材を“無害”と判定する。 c) アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L以上の場合は判定しない。				
備考	1. 本試験は、貴社の持ち込み試料により実施したものです。 2. 本試験は、全国生コンクリート工業組合連合会が、経済産業省の指導に基づき、当センターの「運営」、「設備」、「技術力」などを審査した結果、適正であると認められた『認定試験項目』です。 3. 試験実施場所: 中央技術センター 計量室				

注1) 本書の試験結果は、本書に記載した試料についてのみ有効です。

注2) 試験品目の「試料採取年月日」、「種類名」、「産地名」、「岩種名」は、顧客からの申告によるものです。

注3) 当技術センターの文書による承認なしでは、完全な複製を除き、本報告書の一部だけを複製することを禁じます。

以上